



# 平成灯台守

2024. 10 月号

発行/御前埼灯台を守る会

## 灯台完成時に作られた道しるべ

御前埼灯台への道案内をした「道標」が灯台前広場に設置されました。

この道標は、灯台が完成する直前の明治7年3月に政府の役人、今武高光と村山清弘が現在の県道御前崎堀野新田線の大山、下岬、上岬三叉路に設置したとされ、昭和時代に道路拡張工事により撤去されていたものを灯台150周年記念にあたり、御前崎市が移設復元したものです。

石碑は灯台の建設に使われた建材と同じ



伊豆石で、高さ90cm、横幅奥行30cm、正面に「右燈明臺江九町」、左面に「右駒形神社江八町」、右面の中央に「明治七年三月建之」、右側に「朝臣源高光」、左に「村山清弘」と刻まれています。

## 海保協会から展示ケース寄贈

灯台資料館の備品整備に役立ててくださいと、5月3日に開催した灯台を守る会総会で海上保安協会御前崎支部（藪田国之支部長）から目録（20万円）が贈られました。

守る会ではガラス製の展示ケース【写真】とパンフレットスタンドを購入しました。



展示ケースには、これまでに寄贈された  
① イギリス人技師が村の娘さんにプレゼントした双眼鏡、フォーク、浄水器（上岬区松林操さん）、②初代レンズ片（西側区釜下賢一郎さん）、③村松梢風著小説「燈台」（神奈川県灯台建設時役人の子孫今武正一さん）、④御前埼灯台の建設を国内に知らせた「栃木県令宛て布達書」（購入）等の“家宝”を納め、常設展示室に陳列しました。

## 灯台の新たな魅力と楽しみ方 不動まゆう講演会より

灯台150周年記念イベントの一環として御前崎市主催の記念講演会が8月3日、佐倉地区センター「ホールさくらんぼ」で開催され、70人余りの灯台ファンが聴講しました。



講師は”灯台マニア“の不動まゆうさん。「灯台の新たな魅力や楽しみ方」と題して、①景色、②光、③歴史的存在、④人々との係わりについて、日本の灯台建設の歴史や他所の灯台の構造（建材、高さ、塗装、灯器など）を紹介しながら、御前埼灯台の魅力について話しました。



また、この日の午前中、御前埼灯台の灯室（レンズ）を見学する特別参観会（参加者限定36人）も行われ、灯台を守る会は灯台資料館を開設し、御前埼灯台の歴史文化や魅力を案内しました。【写真】

## 令和5年度の資料館入館者 7,195人

令和5年度は灯台資料館を毎週日曜日と5月の連休(灯台まつり)に開設しました。開館日数は44日、入館者数は前年度より1,300人ほど少ない7,195人でありました。減少の原因は雨天や強風の日が多く、資料館を開館できなかったためです。

また、この年は3月に御前崎港に初めての外国籍客船が寄港しましたので、灯台資料館を開設しました。見学者は130人。

今後、クルーズ船の寄港が増えてくると考えると、灯台資料館の案内や表示方法も外国人対応が課題となってきます。

## よその灯台見学記

北海道北部の灯台を見てきました。

### ① 宗谷岬灯台(そうやみさき)

明治18年(1885)、北海道で3番目に作られた日本最北端の灯台。塔は四角形で高さ17m、白地に赤い横帯が2本塗られています。晴れた日には樺太が見えるという海上交通の重要な場所にあります。



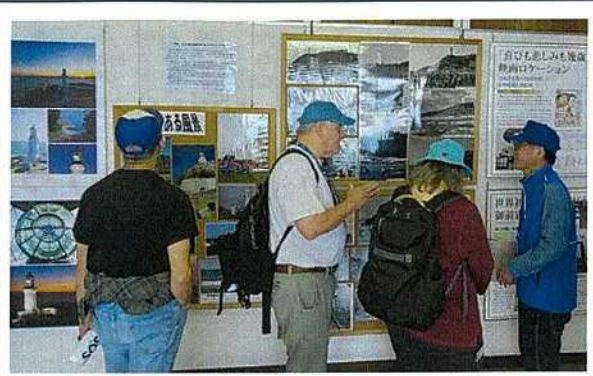
### ② 稚内灯台(わっかない)

ノシャップ岬にあり、この灯台も雪の中でも見やすいように赤い横帯6本が入ったツートンカラーです。高さは北海道一の42.7m。明治33年(1900)に建設されました。



### ③ 鴛泊灯台(おしどまり)

利尻島にあり、明治25年(1892)に作られた石造灯台で、高さ9.4m、お城のようです。by mayumi



## オール御前崎でクルーズ船対応

今年春の客船寄港時には外国語を話せる会員家族の協力がありました。

レンズ回転機械を見ながら爆笑していた様子を尋ねると、「ポップコーンを作る機械(破碎機)かと思った。」とか。

“ブラボー” 感謝の一言です。

## 灯台講座のお知らせ

灯台を守る会では150周年記念事業として「灯台講座」を次のとおり開催します。

日時 11月2日(土) 13:30~15:00

場所 上岬区民館

内容 灯台守の生活と御前崎の思い出

講師 永澤 洋さん(熱海市在住)

永澤さんは、お父さんが御前崎灯台次長として勤務していた昭和40年代初め頃、構内にある官舎で過ごされました。

令和3年(2021)5月に開催した灯台まつりに写真アルバムを持って訪れました。この時、奇しくも当時、御前崎保育園の保育母をしていた澤入秋代会員、幼稚園教諭の鈴木詔子会員と半世紀ぶりの再会となりました。以来、永澤さんは守る会に加入され、毎回灯台まつりに来てくれています。

機会があったら御前崎の印象や全国各地を歩んできた灯台守家族の生活をお聞きしたいと思っていたことが実現します。

参加料無料、ぜひ聴講ください。

なお、駐車場は上岬区民館広場又は海洋センター南の市営駐車場をご利用ください。